



## 2022年 第28回 平和・協同ジャーナリスト基金賞を贈呈



受賞者のみなさんの記念撮影 前列左端から宮崎園子さん(フリーランス記者/元朝日新聞記者)、長田周三さん(西日本新聞社社会部次長)、森井 徹さん(同社会部)、高田佳典さん(同東京支社報道部)、前島文彦さん(山梨日日新聞社編集局報道部長)、篠原 光さん(信濃毎日新聞記者)、松井一恵さん(Kimoon Film)。2列目右端から奥秋 聡さん(NHK第2制作センター文化ディレクター)、加藤 拓(中日新聞読者センター記者)、吉田茂一さん(Kimoon Film「オレの記念日」スタッフ)、松澤常夫さん(日本労働者協同組合連合会常勤相談役)、高橋信雄さん(元長崎新聞論説委員長)、小池幸太郎さん(NHK第2制作センター文化プロデューサー)、東野 真さん(同プロデューサー)、後列左端から木村知義PCJF運営委員会事務局長、岩垂 弘PCJF代表運営委員、中川雄一郎PCJF代表委員、鎌倉悦男PCJF賞審査委員、鶴 文乃PCJF賞審査委員、太田直子PCJF賞審査委員。

### 基金賞＝大賞(2点)

- ★西日本新聞社社会部取材班 『島とヤマトと』など、沖縄と本土の関係に焦点を当てた本土復帰50年報道
- ★山梨日日新聞取材班 『Fujiと沖縄～本土復帰50年』

### 奨励賞(7点)

- ★NHK沖縄放送局・第2制作センター文化 『ETV特集・久米島の戦争 ～なぜ住民は殺されたのか～』
- ★中日新聞読者センター・加藤 拓記者 『ニュースを問う「特攻のメカニズム」』
- ★Kimoon Film キムーンフィルム(監督 金 聖雄 きむ そんうん) ドキュメンタリー映画『オレの記念日』
- ★篠原 光さん 信濃毎日新聞記者 『戦後77年 平和を紡ぐ旅 26歳記者がたどる』
- ★高橋信雄さん 元長崎新聞論説委員長 『鈴木天眼 反戦反骨の大アジア主義』<あけび書房>
- ★松澤常夫さん 日本労働者協同組合(ワーカーズユープ) 連合会常勤相談役 長年にわたる「日本労協新聞」の編集
- ★宮崎園子さん フリーランス記者/元朝日新聞記者 『「個」のひろしま 被爆者岡田恵美子の生涯』(西日本出版社)

平和・協同ジャーナリスト基金は第28回平和・協同ジャーナリスト基金賞の贈呈式を2022年12月10日(土)、東京・内幸町の日本プレスセンター内、日本記者クラブ大会議室で開催しました。

贈呈式は、コロナ禍のため、参加者を受賞者・受賞団体代表の皆さん、基金役員、報道関係者に限り、恒例の祝賀パーティーは取り止めました。贈呈式の受賞者席には加藤拓、篠原光、高橋信雄、松澤常夫、宮崎園子の各氏のほか、西日本新聞社から社会部次長の長田周三、社会部員の森井徹、東京支社報道部の高田佳典の3氏、山梨日日新聞社から編集局報道部長の前島文彦氏、NHKから第2制作センター文化のディレクター・奥秋聡、同プロデューサー・東野真、同プロデューサー・小池幸太郎の3氏、Kimoon Film から「オレの記念日」スタッフ(録音)の吉田茂一、キムーンフィルムの松井一恵の両氏の計14人が参列されました。贈呈式では、司会の芳賀法子・運営委員の開会あいさつに続き、岩垂弘・代表運営委員が第28回基金賞＝大賞(2点)、奨励賞(7点)を発表、「今年度は、沖縄の本土復帰50年に当たったため沖縄に関する作品が数多く寄せられ、しかも、傑作が多かった。このため沖縄に関する作品2点に基金賞＝大賞を贈るといふ異例の決定となった」と選考経過を報告しました。次いで、審査委員でプロデューサー・ディレクターの鎌倉悦男さんが映像部門を講評。その後、代表委員の中川雄一郎・明治大学名誉教授が、受賞者・受賞団体代表に賞状、賞金、記念品(彫刻家松井鮎子さんのデザインによるブロンズを木版にはめ込んだ楯)を手渡し、祝辞を述べました。これを受けて受賞者のスピーチがあり、閉会あいさつは石渡博明・運営委員。贈呈式の模様はフェイスブックを通じてライブ配信されました。